

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		野々島公民館維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部 課長名 高木 敏明		
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課 担当者名 合志 新一		
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班 (内線) 2421		
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	11
		1	10	5	3	10841		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S49 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	施設利用者が野々島公民館を快適に利用できるように維持管理を行う 昭和49年に施設が開館し、野々島地域の生涯学習施設の拠点となり、施設の維持管理が必要となった。従来の中央公民館的役割が、野々島地区におけるコミュニティ施設へと位置づけが変わってきた。 野々島地区は他市町村からの転入者も少なく、高齢化率が高い地域となっており、生涯学習講座参加の市民も次第に減少しつつある地域となってきている。この施設も経年変化で老朽化し、外装のクラックなどが目立ってきていて、この状態が更に進むとコンクリート中の鉄筋を腐食させるおそれがあるので、大規模な外装工事が必要である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	野々島公民館施設全般の消耗品補給や、施設の修繕・工事、施設利用の管理を行い、市民が利用しやすい環境を整える。
【主な予算費目】	報酬、需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	施設が築後30年以上を経過し、老朽化しているため、各所の改修・修繕を要望する意見が利用者から寄せられている。また高齢化に対応するバリアフリー設備等への対応(本館・ホール玄関へのスロープ設置等)も必要であるとの声もある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
樹木剪定委託業務、電気工作物保守点検委託業務、清掃管理委託業務、機械警備委託業務、FAX購入	電気工作物保守点検委託業務、清掃管理委託業務、機械警備委託業務
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
⇒ ア 野々島公民館維持管理事業にかかる経費 円	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
野々島公民館利用者	⇒ ア 敷地面積 m ²
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
施設を快適に利用できる	⇒ ア 施設維持管理上の不具合・トラブル件数 件
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 施設管理上の不具合が少なければ、それだけ環境が整備された施設を提供できたことにつながるから	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	円	5,719,000	4,454,000	5,175,000	4,245,000	5,087,000	5,087,000	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	m ²	890	890	890	890	890	890	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	件	3	2	2	1	1	1	
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	4,804	3,539	4,260	3,330	4,172	4,172
	(A) 事業費計	千円	4,804	3,539	4,260	3,330	4,172	4,172	0
		(A)のうち指定経費	千円	2,801	2,841	3,656	296	2,338	2,338
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	4	1	1	
	延べ業務時間	時間	230	230	230	255	230	230	
	(B)人件費計	千円	913	920	915	1,015	915	915	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,717	4,459	5,175	4,345	5,087	5,087	0

総トータルコスト	全体計画	年度
～		
(期間限定複数年度のみ記載)		
		0
		0
		0

谷志市

事務事業名	野々島公民館維持管理事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 経年劣化により躯体が古くなっているため、施設上の不測のトラブルがいつ起きてもおかしくない状態だから
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 施設設備の利便性向上を図り、市民が利用しやすい施設であるためには、常に時代の要請にあった施設を考えていかななくてはならないが、それには多額の費用が必要である。現在は、厳しい財政事情で必要最小限の施設維持のみ行っているため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 類似施設は他にもあるが、施設を統合してしまうと、統合した各施設の利用者の施設利用時間帯が重なるので困難である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 物件費の内訳は、施設管理委託料や各公共料金、修繕費であり、光熱水費に関しては、利用者の協力により節約に努めている。必要最小限の計上をしているので、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 正職員の関与を最小限に抑えるため嘱託員を配置し、嘱託員の報酬額も他施設管理員に比べ最低限を設定している。また、利用がない土曜の夜や日曜は閉館し、報酬費を切り詰めている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設の維持管理の一端を担っていただくため、施設利用料及び冷暖房使用料の負担をいただいております、利用者による適正な施設の維持管理に貢献している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 野々島公民館は市有施設なので、住民への移行はできない

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

施設の劣化により今後建て替え等が必要となってくるが、もし、建替える場合は施設の利用者数や利用状況を踏まえた、施設規模が望ましい。あと、現在、車椅子がないので配置する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策